

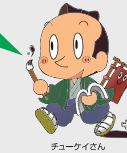


明暦の大火以降、深川には多くの寺社が移転建立され、多くの偉人が眠っています。「深江戸（ふかえど）」こと深川江戸資料館には、江戸時代後期の深川のまち並みが再現され、展示物に触れて楽しむことができます。

深川寺町・深江戸コース

都営地下鉄清澄白河駅は北緯35度40分57.93秒 東経139度47分55.15秒でござる。

距離 約2km
目安所要時間 約120分



- 江東区文化観光ガイド
～区内のまちあるきガイドサービス～
江東区文化観光ガイド事務局 ☎03-6458-7410
受付時間：9時～17時（土・日・祝日・年末年始を除く）
- 深川東京モダン館
～江東区の観光・まちあるき案内所～
住所：江東区門前仲町1-19-15 ☎03-5639-1776
開館時間：10時～18時（金・土は19時まで）
休館日：月曜（祝日の場合翌営業日）及び年末年始

R5年9月よりおひとり200円頂戴いたします。

① 深川東京モダン館

昭和7年（1932）竣工の「旧東京市深川食堂」の外観イメージを色濃く残して改修し、平成21年10月にオープンしました。国登録有形文化財（建造物）です。タイル張りの階段まわり、床や壁面には戦禍にも耐えた建設当時の丸窓に特長があります。1階は江東区の観光・まちあるき案内スペース、2階は多目的スペースとなっています。

② 法乗院 深川ゑんま堂

創建は寛永6年（1629）とされています。同18年に現在地に移り、江戸時代から「深川のゑんま堂」として親しまれてきました。現在のゑんま堂には巨大なゑんま様が鎮座しており、お賽銭を入れると様々な説法を聞くことができます。境内には、曾我兄弟の仇討ちで有名な曾我五郎の足跡を刻したと伝わる石があります。

③ 滝沢（曲亭）馬琴誕生の地

「南総里見八犬伝」のモニュメントが庭先におかれたこの場所は、以前は深川警察署だった場所です。江戸時代には旗本松平信成邸があり、同家の用人であった滝沢興義の五男坊として馬琴は生まれました。10歳でいったん家督を継ぎますが、後に家を出て当時有名な文人であった山東京伝に弟子入り。大衆小説（戯作文学）の先駆者となりました。

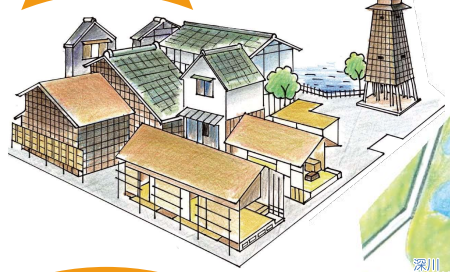
④ 浄心寺 三沢局と小堀遠州ゆかりの寺

慶長16年（1611）に生まれた三沢局は、寛永18年（1641）、徳川4代將軍家綱の誕生とともに乳母となりました。三沢局は茶道・薬園で有名な小堀遠州（遠江守政一入道宗甫、1579～1647）の妻でした。家綱は局の死後、弔いて万治元年（1658）に境内地1万坪を与え、浄心寺が創建されました。

⑤ 間宮林蔵の墓 探検家林蔵の墓

常陸国（現・茨城県）出身の間宮林蔵。伊能忠敬に測量術を学びました。文化5年（1808）に樺太から沿海州に渡り、樺太が島であることを明らかにし、間宮海峡（タタル海峡）にその名を残しました。菩提寺は平野1丁目にある本立院ですが、墓は少し離れた住宅街の一角（平野2丁目）に建っています。

⑥ 深川江戸資料館



総合展示室に入ると屋根の上の猫が囁いてお出迎え。

⑦ 滝沢馬琴誕生の地



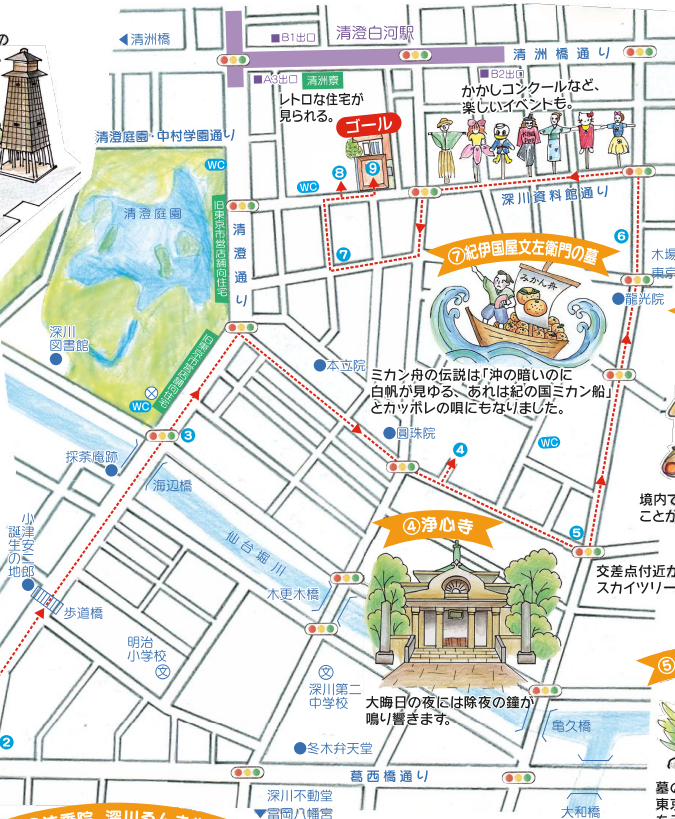
モニュメントは、本を積み重ねた形をしていて、一番上の2冊には「南総里見八犬伝」と書いてあります。

⑧ 深川東京モダン館



階段部分には建設当時のモダンな床が残っています。

江東区の観光・まちあるき案内所です。



ゑんま様、ゑんま堂、地獄極楽絵など、全てが色鮮やかで迫力満点です。大きなゑんま様がライトアップされて、説法もします。

⑨ 霊巖寺



寛政の改革を主導した松平定信の墓（国指定史跡）もがあります。

⑩ 雲光院 阿茶局と庄司甚右衛門の墓所

阿茶局は徳川家康の側室。大奥の統制につとめ、慶長19年（1614）の大坂冬の陣では、和睦の使者を勤めました。2代將軍秀忠の死後に剃髪し、雲光院と号しました。江戸の海郭、吉原の創始者として知られる庄司甚右衛門の墓もあります。

⑪ 紀伊国屋文左衛門の墓 成等院にある紀文の墓

紀伊国屋文左衛門は和歌山で生まれ、江戸に出て商才を発揮、寛永寺造営に尽力し材木豪商になったと言われています。嵐の太平洋を紀州から江戸へ、命かけてみかんを運んだ話は有名です。享保19年（1734）、富岡八幡宮の一の鳥居付近の自宅で没したとされています。墓は、後に設置された大きな記念碑の左奥に建っています。

⑫ 霊巖寺 江戸六地蔵と松平定信公の墓

深川寺町を代表する霊巖寺は、寛永元年（1624）に豊津島（現・中央区新川）に造営され、徳川三代の帰依を受けた浄土宗大本山の一つで、檀林（僧侶養成寺）でもありました。明暦の大火後の万治元年（1658）に現在の地に移転してきました。境内には江戸六地蔵の一つである銅造地藏菩薩があります。

⑬ 深川江戸資料館

地下1階から地上2階、三階にわたる高い吹抜けの大空間に展開する江戸時代の深川の町。江戸時代後期、天保年間頃の深川佐賀町の町並みを想定復元した「情景再現・生活再現展示」です。時代や場所だけでなく、そこに住む人々の家族構成や職業、年齢までを細かく設定し、それぞれの暮らしにあった生活用品が展示してあり、触れて楽しむことができます。

江東区の観光情報やアクセス方法については、江東区観光協会の公式 Web サイト「江東おでかけ情報局」をご覧ください。

江東おでかけ情報局 検索